

「まちライブラリーブック・フェスタジャパン 2024」のパンフレットにも掲載いただき、10月20日（日）～11月10日（日）まで「岸和田ブックフェスタ 2024・秋」を開催しました。それぞれ違ったテーマで魅力ある8つのイベントが行われ、いろいろな場所で本・人・まちがつながりました。これからもやってみたいことを実現する場として、「ゆるく、細く、長く」続けていきたいと思います。



11/10 一箱古本市

岸和田市において第3回目の一箱古本市。昨年同様、商店街のどんチャカフェスタに参加し、城見橋筋商店街において、9人の店主が、想いを込めて選書した本を通じて、訪れたお客さんとのコミュニケーションを図りながら、1日日本屋さんを楽しみました。



岸和田ブックフェスタ 2024・秋

～本・人・まちがつながる～



11/10 ブックフェスタマルシェ

ブックフェスタマルシェを開催しました。岸和田カンカンベイサイドモールのレンガ通りにキッチンカーや竹あかりワークショップなどが出店し、図書館からは自動車文庫「なかよし号」が出張。マルシェ参加各店舗の前には、普段図書館を利用されない方にも本を手にする機会になればと、図書館所蔵の関連本を面展台に並べたり、「なかよし号」の傍に絵本コーナーとおりがみコーナーを設けて図書館の利用案内をしたり。また、ツリープラザでおはなし会を行い、子どもたちと大型絵本や手あそび、パネルシアターを楽しみました。

ブックフェスタマルシェの会場は、たくさんの人でにぎわいました。



11/9 じもと旅 山直上を歩こう！ 知ろう スタンプラリー

この企画は、和歌山大学観光学部の学生のみなさんが地域の方々と連携・協働により、地域の課題解決に向けた活動や調査などに取り組む、「地域連携プログラム」の一環として開催されました。



積川神社境内をスタート・ゴール地点に、地元の大工さんの倉庫では「なよたけの会」講師の方指導の元「小さな竹笛作りワークショップ」、井坂酒蔵場では店主さんによる「酒蔵内覧会」、田舎育ち本舗では子どもたちを対象にしたおかきのつかみ取りイベントが行われました。積川神社から一番遠かった猿とモルターレでは、みなさん美味しいドリンクやスイーツでほっと一息。ここからまた積川神社を目指して歩きました。

VENTLAX FLAGSHIP STORE 岸和田ではスタンプラリー当日に、お店でもイベントが開催されており、スタンプラリー参加者も楽しませていただきました。

スタンプを4つ以上集めた方には神於山保全クラブ、ハンド・イン・ハンドで活動されているボランティアさんが作成された地元の竹で作った竹とんぼ、もしくは一輪挿しを1つプレゼントしました。



【イベント参加者の声（アンケートより抜粋）】

- ありがとうございます。次もあればまた来ます。
- いいお天気で気持ちよかったです。積川町の谷川が美しく感動しました。
- 色々な事が知れたし、ピザやおかきも食べられたから楽しかった。
- もう少し古民家で見学できるお宅が組み入れられていると良いと感じました。
- 長時間かからず、空いた時間を使って回ったので気軽に参加できた。

今回スタッフとして「じもと旅 山直上を歩こう！ 知ろう スタンプラリー」イベントを支えられていた地域の方々は、2022年春のブックフェスタ企画「古民家活用でつながろう」をきっかけに、山手の空き家問題の対策や地域経済の発展、地域イメージの向上を目指して活動されている岸和田古民家Base (KKB) のみなさんです。地元の方々にスタンプラリーチェックポイントとしてご協力いただいたことで、山直上地域の魅力が伝わるイベントとなりました。